

郡中より書之といふ湯産権現と稱する。
を見れば湯の古儀祇を多し薬師仏を本
地仏とす郡の祇——よりより壇上は仏像と
立なり（祇号は群口は湯産権現と申す）
——又村老の言は湯の邊に多し所の地
産といふは享保以来の事といふ湯産を地
産と稱せしむや

熊野権現とは社殿一負権現に郡あり社
殿は淡路海村より伝へて権現は嶽の麓平清水
といふにあり一山の惣号を熊野山運福寺

とれどもいふ書は元を年の事とや村老は是と
言ふを古の社殿もありけりといふ上は古
を渡されぬ所を案によりて参詣なりし
とて平清水より嶽の祇祠と一里程あり古
本丸右より左は磐石——板石と云くを除却
俗に日利火をされたる所を頂上と云れは
郡中を眼下に見る天幕快晴の日他邦異
域も見ゆといふ平清水より登ればお殿
あり東西十間余南北八間余程あり
やに月朔日より二日と氏子（獅子を舞）